

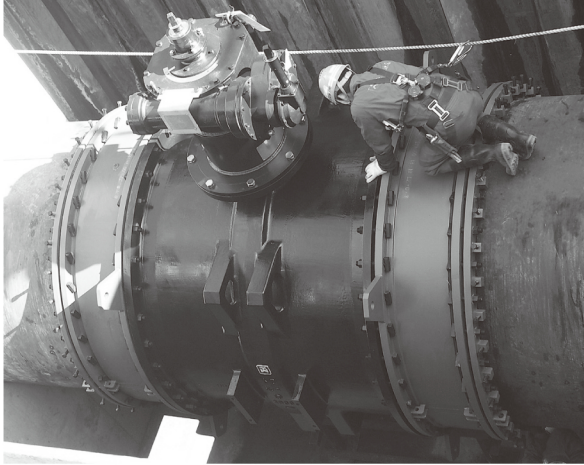
不断水でφ2000のバルブ設置

大成機工 名古屋市春日井浄水場内で

インサートバルブ工法で施工

ポンプ所の送水先切り替えで

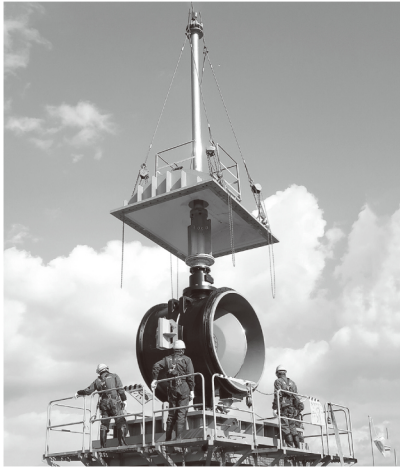
大成機工は、名古屋市上下水道局春日井浄水場敷地内においてφ2000の大口径バルブ設置工事をインサートバルブ工法で施工した。同工法は、通水したままの状態にて既設管路の一部を切断撤去し、バルブを挿入設置する工法で、1977年の開発以来、これまでに約2600件の施工実績がある。なお、同工事の元請会社は青木あすなろ建設となっている。



バルブの設置を完了

春日井浄水場では、送水ポンプの更新整備にあわせて新たなポンプ所を建設した。現在は、新設

所からの送水の新ポンプ



バルブの挿入

所からの送水に切り替えていく予定。今回の工事は、その運用切り替えに必要なためバルブを設置した。バルブ設置工事は1月9日に着工し、順調な工事経過を経て19日に工期通り終了した。

同工法の施工手順は①特殊割継輪を取り付け、水圧テストを行う。切断機を取り付け、調整後上下ケース、作業用仕切弁、上部タンクを組み立て、切断機で本管の外周からバイトにより切断する②切断完了後、切断機と切

管の切断は、大成機工独自の専用タンク内においてバイト式パイプカッターで管の厚みのみを削り取るため▽通水を阻害しない▽切り屑を一切管路に混入させない▽赤水を発生させない▽無振動、無騒音など多くの特徴を持ち、送水の停止が期待できるという画期的な工法となっている。

井田浩喜・名古屋市上下水道局建設工事事務所工事第三係長は「対象の

片を上部タンクに引き上げ、作業用仕切り弁を締め、作業用仕切り弁をタンク外に取り出す③特殊短管を取り付けたバタフライ弁を上部タンク内に入れ、作業用仕切弁を全開し、バタフライ弁などを所定の位置に設置する④特殊割継輪をスライドさせ、特殊短管と特殊割継輪を接合する。上部タンク、作業用仕切弁、上下ケースを解体し、K形ゴム輪、特殊割押輪を接合した後、減速機を設置し施工完了」というもの。

管の切断は、大成機工独自の専用タンク内においてバイト式パイプカッターで管の厚みのみを削り取るため▽通水を阻害しない▽切り屑を一切管路に混入させない▽赤水を発生させない▽無振動、無騒音など多くの特徴を持ち、送水の停止が期待できるという画期的な工法となっている。

水道産業新聞（2019年2月28日付・5311号）

管路は、運用上断水できない重要な管路であることから、不断水工法を採用することとしました。実績のある工法なので、今回も手際よくやって頂きました」と工事の印象

を語り、谷川継人・青木あすなろ建設春日井浄水場作業所長は「これだけの大口径の工事は、それほど数も少なく、専門的で難しい工法だと思えます。そのうえ、今回は

地下水位が高くその苦勞もあつたようですが、経験豊富な専門業者だけに、問題もなくスムーズに施工して頂き助かりました」と優れた施工技術